

地方創生推進交付金の効果検証【外部評価】

事業効果（自己評価）の区分（①非常に効果的であった、②相当程度効果的であった、③効果があった、④効果がなかった）

外部有識者の評価の区分（①有効であった、②有効とは言えなかった）

No	交付対象事業の名称	事業概要		交付金実績額	本事業における重要業績評価指標（KPI）			事業終了後における実績値	達成率	事業効果（自己評価）	外部有識者の評価		
				単位：円	指標	指標値	単位	実績値			事業の評価	外部有識者からの意見	
2	日本有数のカルシウム含有量を誇る名湯「鶴巻温泉」と表丹沢（大山）の地域連携によるまちづくり・経済活性化支援事業（H28年度～H30年度）	【全体概要（目的）】 鶴巻温泉は日本有数のカルシウム含有量を誇る名湯であり、東京の奥座敷とも言われ、当該駅周辺は地域住民への商業等の機能を持った拠点であると同時に、温泉地という地域特性をもっている。また、本市と伊勢原市、厚木市をつなぐ大山は神奈川県有数の観光地のひとつであり、日本三百名山や関東百名山のひとつでもある。本市が取り組む鶴巻温泉街の再活性化に向けた、受け入れ体制強化の一環として、鶴巻温泉と大山のルート整備を図ることで、入込客の増加、及び発着地の経済活性化に資することを目的とする。	【H28年度実績】 大山と鶴巻温泉という自然・歴史・生活文化という地域特性のある二大観光地拠点を公共交通機関で結び、観光客の回遊性を高めることで、鶴巻温泉地区の観光客の増加や経済の活性化を図るため、関係機関等による会議を立ち上げ、観光ニーズの把握調査、路線バスの運行計画案の策定、観光振興策の検討を行った。	6,480,000	鶴巻温泉の観光客数（全国）※増加分	0	人	-	-	③効果があった （評価理由） 交付金充当事業に係る予算を計画どおり執行することができたため効果があったと判断した。			
			鶴巻温泉への年間訪問割合（市民）※増加分		0	%	-	-					
			大山～鶴巻温泉バス利用者数（H29年度の実証運行に対する割合）※増加分		0	%	-	-					
			【H29年度実績】 関係機関等による協議会、鶴巻温泉地区関係者による検討会を行うとともに、大山～鶴巻温泉間の路線バスの実証運行、実証運行による効果検証、実証運行のPR、本格運行計画（素案）の立案を行った。	12,474,000	鶴巻温泉の観光客数（全国）※増加分	0	人	-	-	②相当程度効果的であった （評価理由） 3年間の事業であり、事業の効果を発揮できる段階に至っていないが、昨年、路線バスの実証運行をしたことにより、弘法の里湯の利用者数も増加している。			
			鶴巻温泉への年間訪問割合（市民）※増加分		2	%	2	100%					
			大山～鶴巻温泉バス利用者数（H29年度の実証運行に対する割合）※増加分		0	%	-	-					
		【H30年度計画】 関係機関等による協議会、鶴巻温泉地区関係者による検討会を行うとともに、より本格運行に近い形での大山～鶴巻温泉間の路線バスの実証運行、実証運行による効果検証、実証運行のPR、本格運行計画（素案）の立案、本格運行に向けた環境整備を行う。	5,240,000 （内示額）	鶴巻温泉の観光客数（全国）※増加分	20,000	人							
		鶴巻温泉への年間訪問割合（市民）※増加分		5	%								
		大山～鶴巻温泉バス利用者数（H29年度の実証運行に対する割合）※増加分		10	%								

説明資料の添付

No.	資料の名称	資料番号	(説明資料の添付について)
1	日本有数のカルシウム含有量を誇る「鶴巻温泉」と表丹沢(大山)の広域連携によるまちづくり・経済活性化支援事業	2-2	
2	対象地域の位置関係図	2-3	
3	バス実証運行結果	2-4	
4	観光客受入イベントの実施結果	2-5	
5	実証運行のための効果的なPRの展開	2-6	

1. 事業概要(実績)に記載した内容(成果)がわかる資料を添付すること。
2. 可能な限り、案内図、位置図、イメージ図等を添付すること。
3. 説明資料(右上)には、左記に対応する資料番号を記載すること。